



南部町立南部中学校 学校だより 第13号

チーム南部中

令和元年10月16日(水)
校長 望月和彦

2年生主体の新チームの初舞台！ 峡南地区新人戦！

中学校の運動部にとって、授業日に教育活動の一環として行われる教育内大会には、4月から5月にかけて行われる選手権大会（野球は選抜大会）、6月から夏にかけて行われる総合体育大会



（総体）、そして新人体育大会（新人戦）があります。総体が終わり3年生が引退すると、本校の7つの運動部は2年生主体の新チームとなり、それぞれの新たな目標を設定して取り組んできました。部長や副部長など新しいチームのリーダーも決まり、猛暑の夏休みや2学期になってからの朝・放課後の練習、休日の練習や練習試合を通して、部ごとに個人やチームの技術や精神力を伸ばし、チームワークを高めてきました。そして、これまでの成果を試す「峡南地区新人体育大会」が、10月3日（木）・5日（土）に行われました。直前の9月30日には、生徒会主催の選手激励会が開かれ、応援委員や3年生、文化部の生徒たちが中心になって、選手たちに心のこもった応援を披露してくれました。地区新人戦での各部の結果は次の通りです。



て、これまでの成果を試す「峡南地区新人体育大会」が、10月3日（木）・5日（土）に行われました。直前の9月30日には、生徒会主催の選手激励会が開かれ、応援委員や3年生、文化部の生徒たちが中心になって、選手たちに心のこもった応援を披露してくれました。地区新人戦での各部の結果は次の通りです。

女子バレーボール部	予選リーグで増穂中と身延中に、決勝トーナメントで三珠中と六郷中に、すべて2対0で勝利し、優勝。
男子バレーボール部	三珠中と市川中に、ともに2対0で勝利し、優勝。
野 球 部	決勝で増穂中に10対0（5回コールド）で勝利し、Aパート優勝。
女子ソフトテニス部	個人戦には5組が出場し、1組は2回戦進出、他は初戦で敗退。 団体戦では、予選リーグで身延中に0対3で負けるも、市川中と六郷中に、ともに2対1で勝利する。準決勝で増穂中に、代表決定戦で再び身延中に負けるが、第3位。
男子ソフトテニス部	個人戦には5組が出場し、千月・五十嵐組がベスト8。2組が2回戦進出、残り2組は初戦敗退。 団体戦では、早川中に2対1で勝利するが、身延中と鯉沢中にともに1対2で敗退。
女子バスケットボール部	市川中と増穂中と対戦し、ともに敗退。
男子バスケットボール部	市川中と増穂中と対戦し、ともに敗退。

※地区大会の結果、男女バレーボール部と野球部、男子ソフトテニス部の千月・五十嵐組は、県新人大会に出場することになりました。県大会での活躍を期待しています。

私は会場を回り、いくつかの試合を見させていただきました。本校の選手たちは力と心を合わせて精一杯戦っていました。試合は勝負ですから、すべての選手、すべてのチーム、すべての学校が「勝利」や「優勝」を目指しています。「勝利」があれば、同じ数だけ「敗退」があります。本校

の結果は部ごとに、優勝、県大会出場権獲得、初戦敗退などそれぞれですが、チームや個人ごとに身体能力や体格の差があり、スポ少などの競技経験の有る無しの差もあります。部員数にも違いがあります。それぞれのチームや選手の状況やこれまでの活動過程を振り返ると、勝者にも反省点や課題があり、敗者にも成果や讃えるべき点があるはずです。試合の結果と同時にこれまでの活動をしっかりと振り返り、次なる目標（県大会や春の選手権）に向けて頑張ってもらいたいと思います。



避難訓練&南部エリア防災会



先日の猛烈な台風19号は、日本各地で人命や財産、交通機関に甚大な被害を引き起こし、南部町内でも被害を発生させました。「いざというときに、どのように行動すれば自分や周りの人の命を守るのか。」学校教育の中でも繰り返し防災教育や避難訓練を行っていく必要性を強く感じました。

10月8日（火）には3回目の避難訓練を実施しました。大規模な地震を想定した訓練でしたが、生徒への「予告なし」で実施しました。また、校庭西側は小さな川があって土石流警戒

区域になっており、校庭東側は盛り土になっているので、今回は「校庭に地割れが発生しました。校庭は危険があるのでスクールバス車庫上の駐車場に避難してください。」という放送を入れてみました。生徒たちは授業を行っていた教師の指示に従い、整然と緊張感を持って一次避難（机の下へ）、二次避難（集合場所へ）ができました。次回は、休み時間や清掃時間など教室以外の場所で、教員が近くにいないときの避難訓練を実施したいと考えています。

避難訓練のあと「南部エリア防災会」の訓練を行いました。エリア防災会とは、災害時に避難所となる学校の代表者、避難地域住民の代表者、行政の担当者が、避難所の開設や運営などについて協議し、災害時に備えるための組織で、南部町内の学校区単位で設けられています。

8日は、中野・南部・大塩区の区長さん、区長代理者さん、土木委員さんと、町の交通防災課や教育委員会の担当者に来校していただきました。本校が避難所となったときのために、学校にはどのような災害対策施設や設備があるかを説明し、その後、校庭横にある防災倉庫の備品の中身を確認してもらい、



防災対策備品の使用法の訓練を行いました。後半の訓練には中学3年生も参加し、発電機とバルーン投光器、緊急時用非常用浄水装置、トリアージタグの使用法について学習しながら、実際に試してもらいました。大規模災害の発生時に、地域住民と学校、行政が連携するための取組の一つであり、中学3年生には、一朝有事の際には地域を助ける力になれるという自覚を育てる機会になりました。